

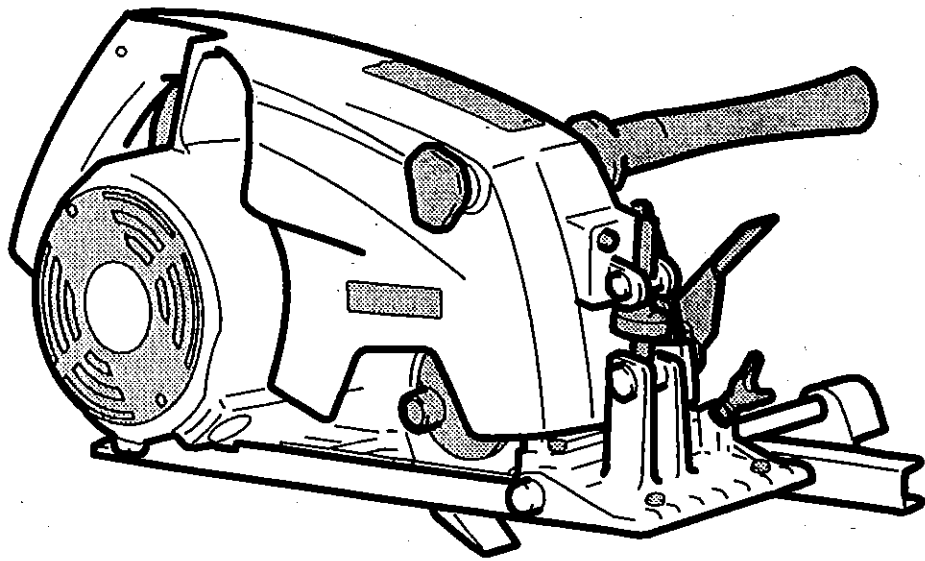
RYOBI®

ミゾホリ機(スレーキ付)

V-6201AS

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～4
- ・各部の名称 4
- ・仕様、付属品、別販売品 5
- ・操作方法 5～6
- ・ミゾホリ加工 7～8
- ・胴ぶち加工 8～10
- ・保守と点検 10～11

このたびは、ミゾホリ機をお買上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■ 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・ 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・ プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 常識を働かせてください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

19. 損傷した部分がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

ミゾホリ機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ミゾホリ機をご使用の際には、さらにつきに述べる注意事項を守ってください。

△ 警 告

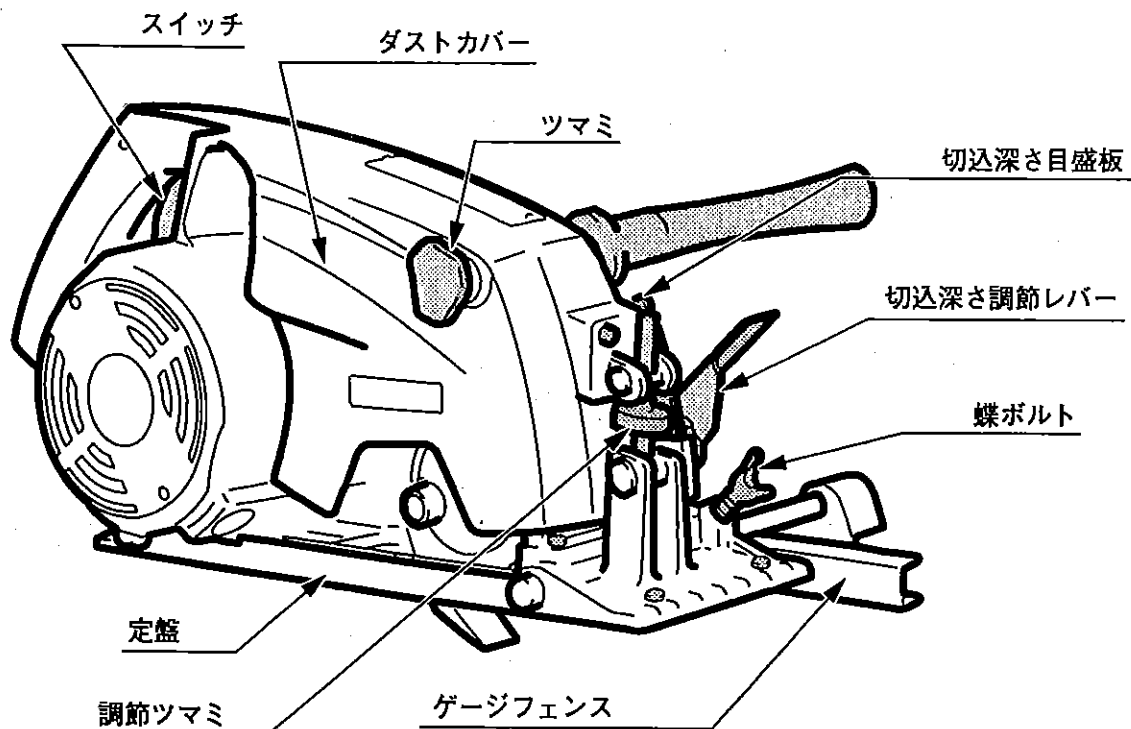
1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、前後のハンドルを両手で確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・台が不安定ですと、けがの原因になります。
4. 反発力に注意してください。
 - ・急な切込みは強い反発力が生じ、けがの原因になります。本体を確実に保持し、ゆっくりと切り始めてください。
 - ・切削途中でカッタを回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。
5. 使用中は、カッタ及び可動部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。

6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

△ 注 意

1. カッタや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. カッタにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・カッタが破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にカッタを向けて空転させ、機体などの異常振動がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - ・機体を落としたり、けがの原因になります。
6. 材料に釘など異物がないことを確認してください。
 - ・刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
7. 切削しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。

■ 各部の名称



■ 仕様

- 電源 …… 単相・交流 100V 50/60 Hz
- 電流 …………… 12A
- 消費電力 …………… 1100W
- 無負荷回転数 …………… 8,500R.P.M.
- 最大切込深さ (ミゾホリ) …… 30 mm
(胴ぶち) …… 15 mm
- 切削巾 (ミゾホリ) …………… 15 mm
(胴ぶち) …………… 46 mm
- 本体重量 …………… 7.3 kg

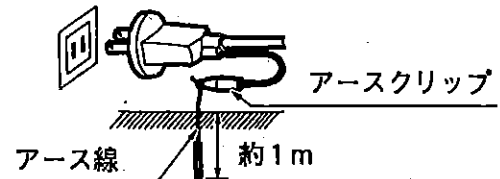
■ 通常付属品

- ケビキ付カッタ 21 mm
- 両口スパナ (17×19 2本)
- ゲージフェンス
- 補助ハンドル

■ 操作方法

● アースについて

- 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地 (アース) してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機械の金属部 (外部) 間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。

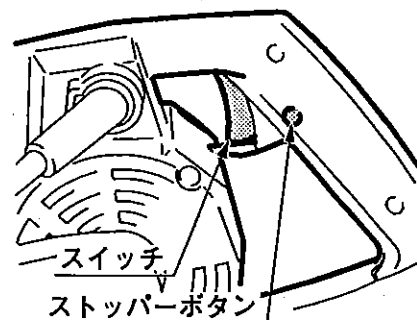


● スイッチの扱い方

△ 警告

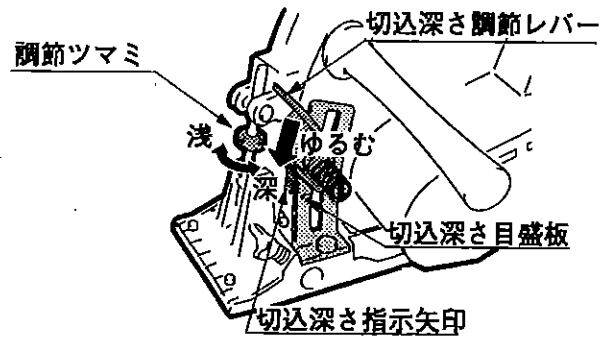
使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を越える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り離すと切れます。
またスイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパーボタンを押すとスイッチから指を離してもスイッチは入ったままになります。
この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンがはずれスイッチは切れます。
連続使用の場合はこのストッパーボタンをご利用ください。



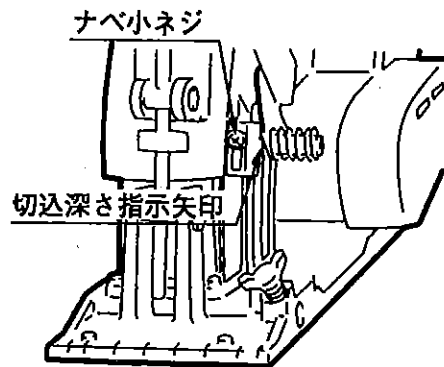
● 切込深さの調節

- 切込深さは切込深さ調節レバーをゆるめ、調節ツマミを回して行ないます。
- 目盛を合わせましたら、切込深さ調節レバーをしっかりと締付けてください。
- 切込深さ調節レバー締付時のレバー角度を変更したい場合、切込調節レバーを手前方向に引っ張り、六角穴の位置をずらせてください。



● カッタが摩耗した場合

- 切込深さ調節レバーをゆるめカッタを手で回し、カッタの刃先が定盤の低面に一致する位置に切込深さを合わせます。
- 次に切込深さ指示矢印を止めているナベ小ネジをゆるめ、切込深さ目盛板の0位置に矢印を合わせてナベ小ネジを締付けてください。



● カッタの脱着

△ 警告

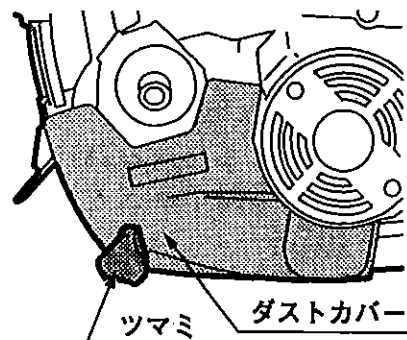
- カッタの取付け、取外しのときは、スイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

△ 注意

- カッタは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。

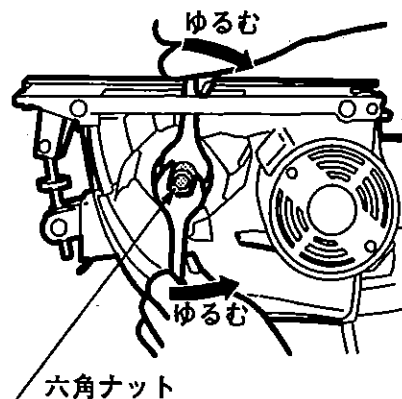
(取外し)

- ツマミをゆるめ、ダストカバーを取外します。
- 付属品の両口スパナの1本はフランジに合わせて固定し、もう1本は六角ナットに合わせてゆるめます。
- 六角ナット、外フランジ、カッタの順に取外してください。



(取付け)

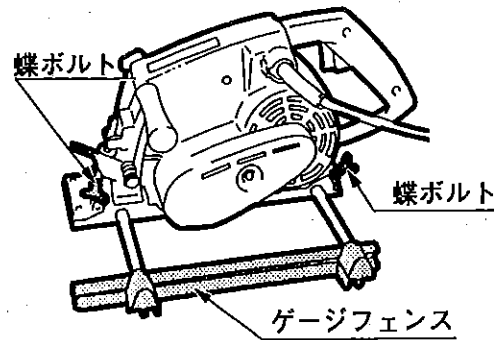
- 取付けは取外しの逆の要領で行なってください。この時カッタの回転方向に注意してください。



■ ミゾホリ加工

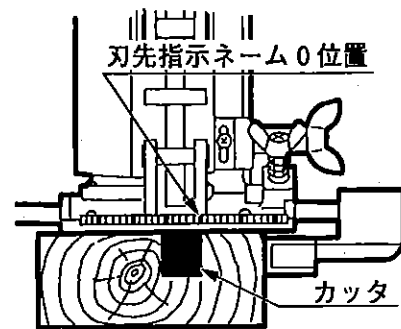
● ゲージフェンス

- 墨打線に刃先指示ネームの目盛0位置を合わせます。次にゲージフェンスを木材にセットし、木材の側面に軽く押し当て、沿わせて加工すれば真直ぐな溝ホリ加工ができます。
- ゲージフェンスは前後の蝶ボルトをゆるめて移動させます。



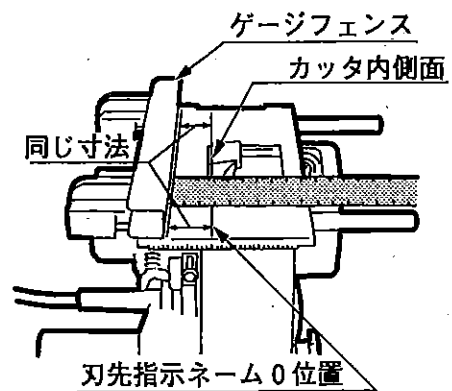
● 切込み位置

- カッタの内側に刃先指示ネームの0位置が合わせてあります。墨打線に0位置を添わせれば、お望みの位置に加工ができます。



(注) カッタが摩耗した場合には、刃先指示ネームを固定している2本のビスをゆるめ、0位置をカッタの内側面に合わせてください。

(刃先指示ネームの目盛は1目盛が3mmです。)

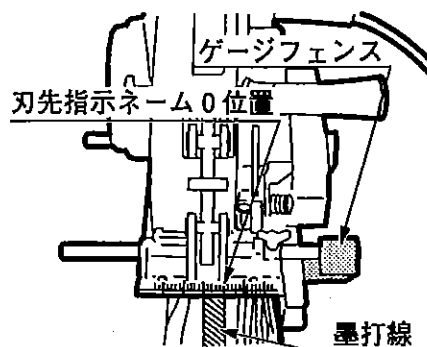
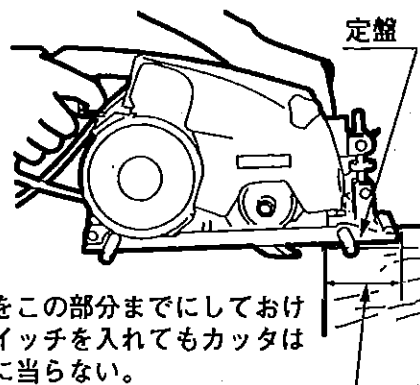


● 加工要領

△ 警告

- ・ 急な切込みは強い反発力が生じ、けがの原因になります。本体を確実に保持し、ゆっくりと切り始めてください。
- ・ 切削途中でカッタを回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げるようにしてください。

- 定盤の前側を木材にのせ、スイッチを入れます。カッタの回転が十分に上がりましたら加工を始めます。
- 送り速度は木材の硬軟、切込深さによって異なりますが、いずれの場合も送り速度を一定に保つことが大切です。
- 乾いた木材や木目によって溝の縁が欠けるおそれがある時は、特に送りをゆっくりするか、切込深さを少なくし2～3回で削るようにするときれいに仕上がります。
- 機体が木材の上を水平に動くように前に進めてください。特に削り始めや削り終わりに機体が傾かないように注意してください。

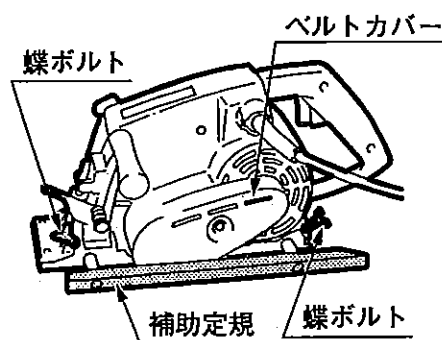


■ 胴ぶち加工

- 別販売品の、補助定規、案内定規、胴ぶちカッタをお求めください。

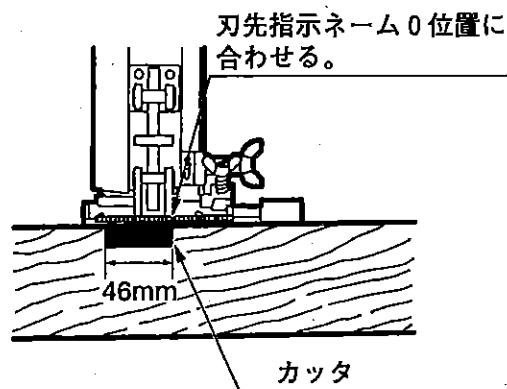
● 補助定規の取付け

- 定盤側面の2ヶ所の穴に補助定規をさし込みます。
- ベルトカバーに当たるまでさし込み、前後の蝶ボルトを締付けます。



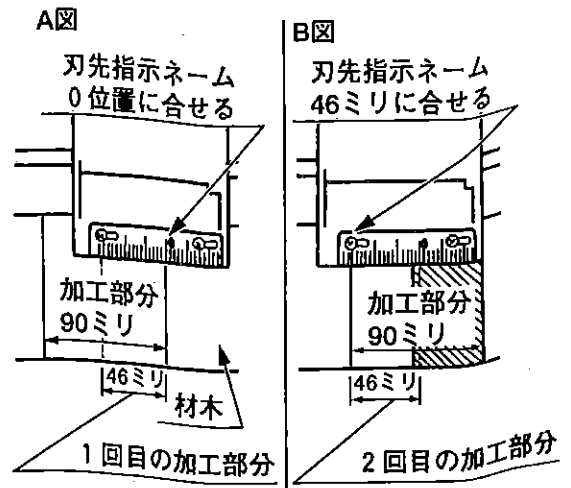
● 切込み位置 (胴ぶちカッタ46mm使用の場合)

- 胴ぶちカッタの内側に刃先指示ネームの0位置が合わせてあります。
- 墨打線に0位置を添わせれば切削巾46mmの加工が出来ます。



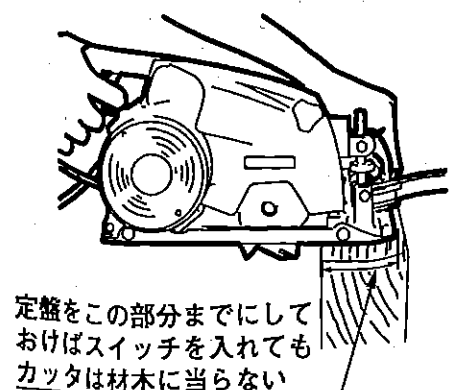
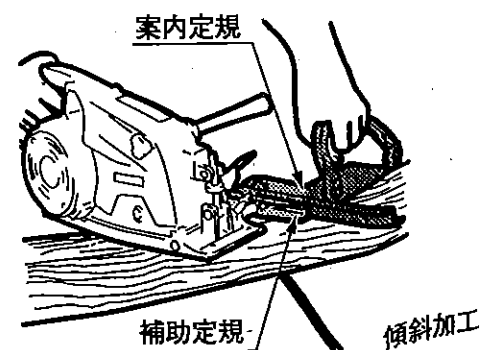
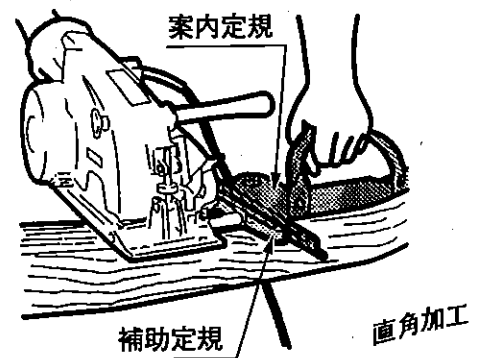
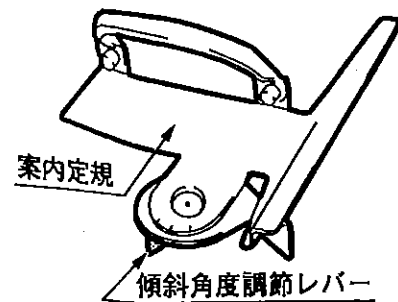
● 巾広加工 (90mm巾の加工例)

- まずA図の様に刃先指示ネームの0位置に墨打線を合わせ加工します。
- 次にB図の様に墨打線に刃先指示ネームの46mm位置 (カッタの外側) を合わせて加工すれば巾広加工が出来ます。



● 案内定規の使用

- 墨打線に刃先指示ネームの目盛0位置を合わせます。
- 次に案内定規を補助定規側面に合わせれば真直ぐに加工出来ます。
- 傾斜加工をする時は、案内定規の傾斜角度調節レバーをゆるめて角度を調節し、刻印に目盛を合わせます。(1目盛 30°)
- 案内定規は手または足でしっかり固定してご使用ください。



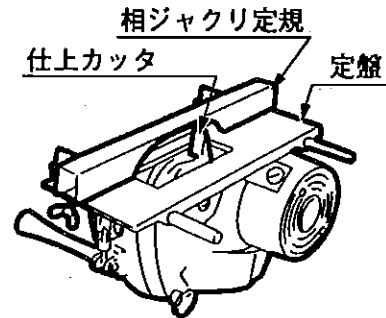
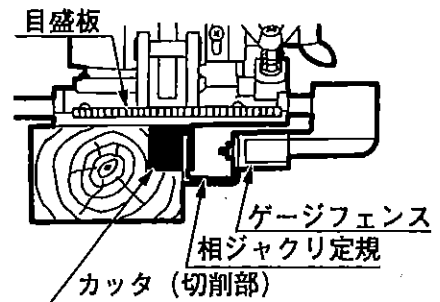
定盤をこの部分までにして
おけばスイッチを入れても
カッタは材木に当たらない

● 加工要領

ミゾホリの加工要領を参照してください。

● 相ジャクリ定規セット (別販売品)

- ゲージフェンスに相ジャクリ定規の切込側をカッタ側に向けて図の様に2本のビスにて取付けます。
- 相ジャクリ定規セット
 相ジャクリ定規 1
 ナベ小ネジ⊕ 2
 六角ナット 2
 平座金 2
 バネ座金 2



■ 保守と点検

△ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

● 各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

● 使用後の手入れ

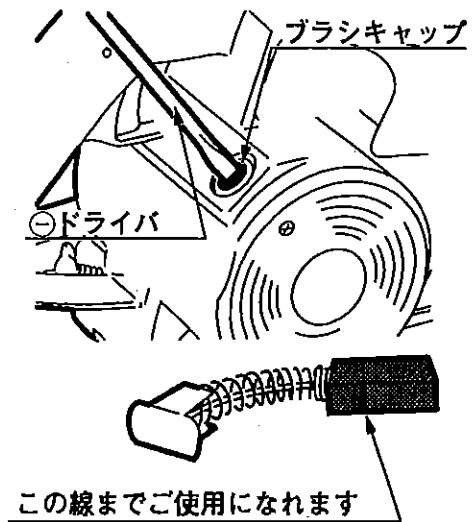
- スイッチ部やハンドルを取外し、中にたまったほこりを掃除してください。そのままにしておきますとスイッチ動作不良や絶縁不良の原因となります。
- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

● 作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

● カーボンブラシについて

- カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシが全長の $\frac{1}{2}$ 以下になりましたら新しいカーボンブラシと交換してください。そのままご使用になりますとモーター故障の原因となります。
- カーボンブラシの交換は⊖ドライバでブラシキャップを外せば、簡単に行なえます。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換される時は指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



● 修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社